



早く乾かすには…

長い物・短い物、厚手の物・薄手の物を交互に干す

間隔をあけるのはもちろん、洗濯物の長さや厚さを交互にする事で風が通りやすくなり、乾きが早くなります。

ハンガーは厚めかワイヤー2本使いで

服の前身ごろと後ろ身ごろがくっつかないように、厚みのあるハンガーを使う
ない場合はワイヤーハンガーを2本使って空間を作りましょう。



スカートやズボンは筒干し

裾までしっかりと伸ばし、ハンガーピンチを使って筒干ししましょう。裏地がついていたり、内側ポケットがある場合は裏返しにすると、内側まで素早く乾きます。

バスタオルやシーツなどの大物は蛇腹干し

ピンチハンガーで蛇腹に干すと、少ないスペースでも重なり合わずに干せ早く乾きます。

パーカーは逆さ干し

パーカーは裾をハンガーピンチで止め、逆さにパンサイをする形に干すとフード部分が乾きやすくなります。



扇風機を洗濯物の下半分にあてる

洗濯物の水分は下に溜まるので、扇風機を首振りにして洗濯物の下半分あたりに風を当てると早く乾きます。

部屋干しに適した場所

オススメは、**浴室**です。それは、換気扇や換気口が設置されているからです。そのため、他の部屋に比べて湿気を含んだ空気が外に出て行きやすいです。

入浴し終わったら、軽くタオルで浴槽内の水気を取り

部屋干し用洗剤で洗った洗濯物を干すのもいい方法です。

さらに、お風呂場のドアを開けておいて、扇風機で風を送るともっと早く乾きます。

その湿気も換気扇や換気口からしっかり逃げていきます。



梅雨の時期になるとぬめりや黒カビの発生率や頻度があがる



梅雨時期 ぬめり・黒カビ編

ぬめりと黒カビは「湿度」「温度」「栄養」
の3つの条件によって増えやすくなる。

[湿度]

湿度が65%を超えると、菌が増えやすくなる。

[温度]

温度が高くなると、菌は増えやすくなる。

[栄養]

食材のカスや調理に使った油、洗剤の残りカスがあると菌は増えやすくなる。



対策は…

- ・換気扇を常に回す
- ・シンク下は整理整頓と空気の入換え
シンクの下はキッチンの中でも特に湿気がこもりやすい場所です。
空気が通りやすいように整理整頓と1日10分ほど扉を開けて空気の入換えをしましょう。
- ・シンクやキッチン台はアルコールで拭く
水気が多く、カビもできやすい場所なので常に乾いた状態にしておくことが大切です。
アルコールは揮発性が高く水拭きよりもすぐに乾きます。

絶対にしてはいけないカビ撃退法

キッチンシンクの黒カビを雑巾で拭くのは控えましょう。濡れた雑巾で黒カビを拭くと増殖してしまう可能性があります。

かといって、乾いた雑巾は、黒カビのない場所にまで増やしてしまうことになります。

もし、雑巾を使うのであれば、消毒用アルコールを使用して掃除をしましょう。

カビに殺虫剤をかけるのも控えましょう。

入っている成分によってはカビに栄養を与えてしまうこともあり、繁殖させてしまいます。

